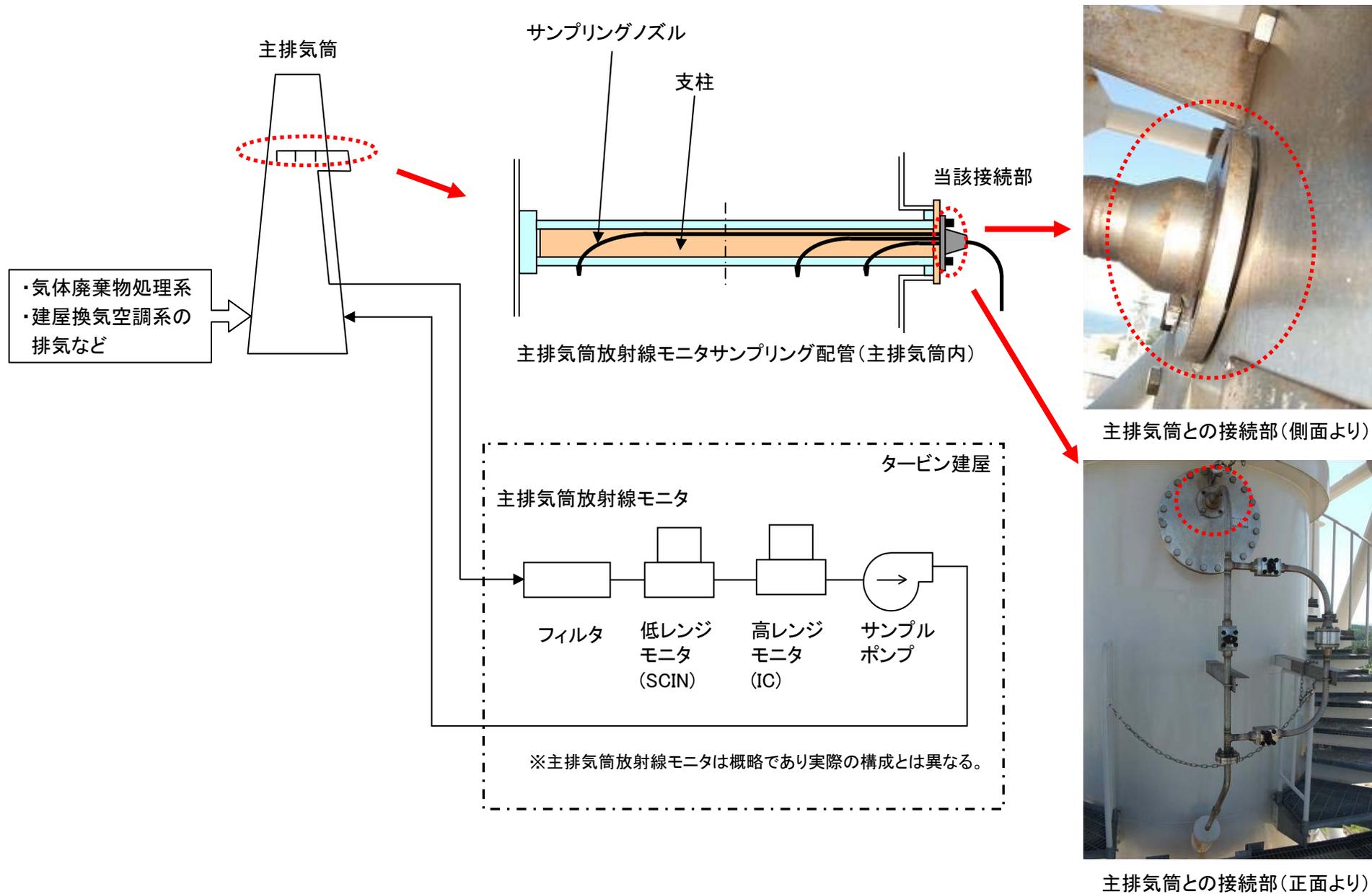


区分：その他

号機	7号機	
件名	主排気筒放射線モニタサンプリング配管接続部の不具合について	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況)</p> <p>平成 24 年 8 月 1 日午前 10 時 30 分頃、定期検査中の 7 号機において、主排気筒放射線モニタサンプリング配管*の点検のため現場調査を行っていたところ、当該配管の吸込側配管（直径約 30mm）と主排気筒との接続部のボルトが欠落し、接続部に隙間があることを当社社員が確認しました。</p> <p>(安全性、外部への影響)</p> <p>当該配管（吸込側）は、主排気筒から放出される気体を吸い込み、放射能濃度を測定するためのサンプリング配管であり、外部に比べて常に圧力が低くなっていることから、当該箇所から配管内の空気が外部に漏れることはなく、その後の調査においても、当該箇所から外気の吸引を確認しており、外部への漏えいはありませんでした。</p> <p>一方、当該箇所から外気を吸引した場合、当該配管内の気体が希釈されて放射能濃度の測定に影響を与える可能性があるものの、外観点検の結果、接続部の隙間はわずかであるため、その影響は小さいものと考えております。</p> <p>* 主排気筒放射線モニタサンプリング配管 原子力発電所から出る気体中に含まれる放射性物質を測定するために、主排気筒から放出される気体の一部を取り出し、専用の試料採取装置に導く配管。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / ○その他設備</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>応急処置として、当該箇所の隙間については、ビニールによる養生を実施しました。</p> <p>今後、サンプリング配管の接続部に隙間が発生した原因等について調査を行ってまいります。</p> <p>また、当該箇所からの外気の吸引による放射能濃度評価への影響についても詳細に評価を行います。</p>	



柏崎刈羽原子力発電所7号機 主排気筒放射線モニタサンプリング系統概略図